

たけた 市議会 だより

No. 53
令和元年5月1日発行



墓守桜

写真提供者

衛藤 順光 1944年生まれ 竹田市在住

Profile

竹田市観光ボランティアガイド
岡の里事業実行委員
写真撮影が趣味で、作品を豊後竹田駅構内に常設展示中！

- 代表質問 2~3
- 一般質問 4~9
- 予算特別委員会 10
- 第1回定例会の議決結果 10~12

市長の施政方針に各会派が

代表質問

平成31年第1回定例会は、3月1日から3月26日まで26日間の日程で開かれました。

3月7日、3会派の代表者が代表質問を行いましたので、その内容を要約してお知らせします。

なお、原稿は質問議員本人が執筆しています。



行財政改革の取組と成果について

問 合併直後、「中期的な財政収支の試算」を見ると歳入歳出差引はマイナス、財政調整基金は数年のうちに枯渇すると載っている。しかし、現在はマイナス、枯渇することもない。平成21年、市長に当選してから、これまでの行財政改革の取組と成果は。

市長 平成17年以降、小泉政権の進める厳しい「三位一体の改革」が地方を襲つたが、幸いにして21年から地方創生の風が吹き始め、竹田市はその風に乗り、順調な財政運営を行うことができたこの10年であったと思う。改革にも懸命に取り組み、職員定数では、合併以来176名を減員、率にして33.7%減じてきた。特別職と一般職員の給与カットをお願いし、これまで延べ9億6千万円の節減をおこなった。また、決算統計による職員給はこれまでに12億円を減らし、その財源を社会福祉費や教育費の充実に努め

てきた。しかし、市民サービスの低下を招かないよう、職員数に見合った事務事業の見直し、民営化や民間委託、そして民間からの人材登用のあらゆる手法を駆使しながら、行財政改革を行つてきた。中でも南山荘の民設民営化、荻保育所の竹田市社会福祉協議会への移管は、市の財政負担を大きく削減できた。

一方、職員の削減に伴う、行政力低下、住民サービスの低下を招かない組織の確立と専門的な人材の登用が必要になつてくるということで、6つのフロー構想の実現をしてきた。(1)まちづくりたけた株式会社(2)農村商社わかば(3)竹田市観光ツーリズム協会(4)竹田市社会福祉協議会(5)農村帰郷支援センター(6)文化振興財団として新たなフローの設立にむけて研究を始めた。要は職員数は、少くならない専門職を民間登用することで、これまでになかった経験を注入することで、より充実した現場を作り上げていくことができる。

このほかに、ドローンの活用について質問した。



このほかに、ドローンの活用につ



鷲司 英彰

新生会

平成31年度当初予算案について

問 竹田市立こども診療所は、今後、指定管理による運営が予定された。しかし、当初予算案はこれまでどおり竹田市直営の予算案である。その整合性を問う。

市長 現在の状況を早急に解決できるよう努めている。指定管理制度に移すにはもう少し時間が必要である。まずは、竹田市直営のことども診療所として継続するというのが、現時点でいちばんスマートな流れである。

現医師も竹田市も診療所を継続するということに対し思いは同じである。指定管理の合意形成が出来れば議会の承認をいただいて移行していきたい。

問 竹田市の財政状況の将来の展望を伺う。

財政課長 平成31年度度当初予算総額は約197億6千万円と3年ぶりに200億円を割った。投資的経費の減少が主な原因である。一方、高齢

化が進んでいることや認定こども園が1園増えたこと等が社会保障費の増につながっている。

市のガバナンスについて

問 新築が進むことども診療所の医師不在の可能性、ケアハウスに関する書類の不備等の問題。こうしたことが起きる原因はどうにあると考えるか。

市長 監査委員からも内部統制の指摘を頂いたところである。すべてに目が届くような組織づくりが必要である。「理事」職新設で改善されるのか。
市長 職員一人ひとりのスキルアップが重要。研修を積み訓練を重ねていふことが必要である。

基幹産業の振興について

問 中九州道路が竹田まで開通した。交通の便は良くなつたが基幹産業の振興がなければ人口流出が進むのではないか。

市長 平成29年度の決算における農業費の割合は全体の11・8%と、県下で突出している。新規就農者の確保が難しい昨今であるが、この4年間で100人を超える人が竹田市では就農している。

問 現医師に担つて頂く以外にないがどう考えているのか。

副市長 12月定例会で、「現医師に継続してもらうのが、指定管理の核心部分」の答弁に今も変わりない。

問 議会の対策委員会で、医師は



加藤 正義

清風会

いじども診療所について

問 子どもは、竹田市の宝、未来である。その子どもたちの命と健康を守る診療所の存続は市の大命題。市

民団体「竹田の小児医療を守る会」は、1週間程で5千300人の署名を集め、医師と市長に提出している。不安の表れ、重く受け止めるべき。医師は、辞職も考えているようだが、昨年5、6月頃までの意欲をどう認識していたか。

副市長 この地に骨を埋める医師の心積もりを認識していたが、この10年間同じ思いで地域医療を目指してきたのか、特に指定管理や新築に向けての構想と共に来て来たか大いに反省している。

市長 医師が行政に不信感を抱く事態になつた要因は、事務レベルの失態、協議不足、医療知識不足、事務の遺漏、そして私自信もつと親密にすべきだったことをお詫び申し上げる。現在は話し合いを重ねており、早く不信感を解いて次のステップに進みたい。

市地域医療推進協議会の小児医療委員会で、市民の意見を取り入れた体制づくりを進める。

このほかに、中九州ユータウン

「市は私でなくともよかつた。他に医師を探していた。この10年の努力は何だったのかと悔しい思いだた」という心情を述べている。

副市長 他の医療機関に打診をしたと確認しているが、更にこのことは一般質問で明らかにしていただきたい。

問 指定管理の公募という形が最善だったのか。

副市長 10年近くの実績がある現医師を優先して、指定管理を受けて頂くことが適切だと反省し、現医師にお詫びしたい。

問 市長の誠意と英断しか解決できないのではないか。

市長 医師が行政に不信感を抱く事態になつた要因は、事務レベルの失態、協議不足、医療知識不足、事務の遺漏、そして私自信もつと親密にすべきだったことをお詫び申し上げる。現在は話し合いを重ねており、早く不信感を解いて次のステップに進みたい。

市政を問う

一般質問

3月11日・12日、10人の議員が一般質問を行いましたので、その内容を要約してお知らせします。
なお、原稿は質問議員本人が執筆しています。



一般質問

商工業について
中小企業の人材不足の解消策、併せて、商店の後継者対策についてどのようにサポートするのか問う。

市長 生産年齢人口（15～64歳）は、1997年をピークに2016年には1000万人減少している。働く人は、消費者であることから人口減は危惧される。

商店の後継者対策をサポートするのは、商工会議所・商工会等が担う必要がある。行政の役割は、商業振興のための基盤整備と周辺地域の生産力アップにある。

城下町再生へ国の補助や合併特例債を含め71・6億円を投資してきた。今後、交流プラザや無電柱化による空きスペースを活用し、街なみ環境を整備する。そこに竹田らしさを醸成し交流人口を増加させる仕組みを生み出していく。

また、竹田市起業家育成支援事業補助金のあり方について、現在、府内

農林業について
県営畑かん事業は、35年度までの計画である。完成後の管理運営費は、使用料収入に直結する。受益面積全体に加入していただくための方法を検討する必要がある。見解を問う。

農林整備課長 国営大野川上流土地改良事業が3度の計画変更を行い31年度完成する。

事業が長引いたことによる高齢化や担い手不足等の影響もあり、畑かん推進が進んでいない。加入（給水栓の立上）が少なければ、維持管理費が使用料で賄えず、不足分は市が財源補てんする事になる。1月末にかけて、県と市で受益地区農家にアンケートを実施した。意見に給水栓設置時の負担軽減などがある。県や関係部局と協議し、効果的な対策を早急に考

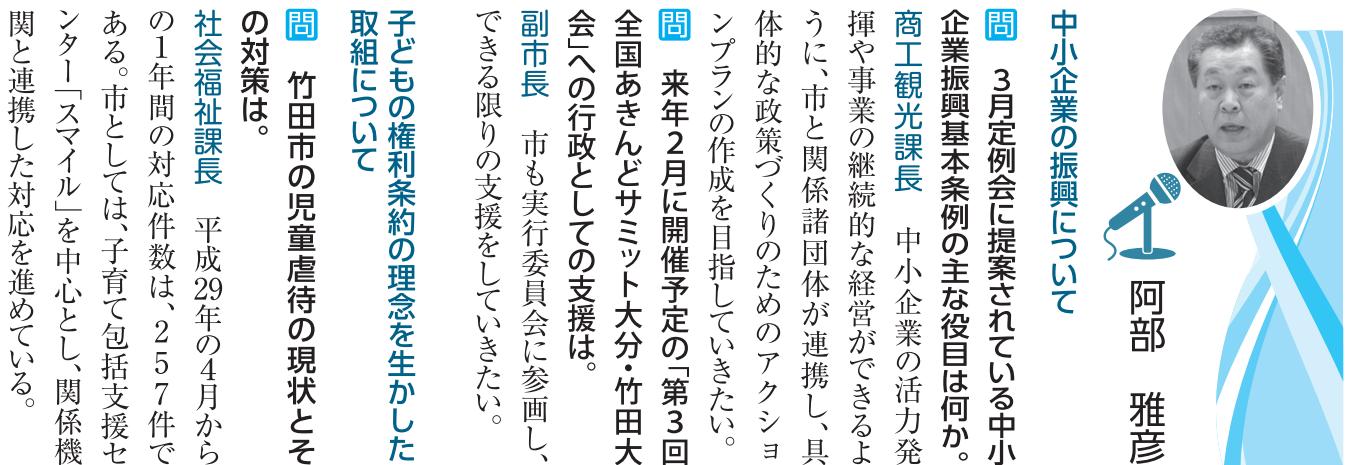
ええる。

このほかに、新森林経営管理制度に対する職員配置、獣害対策等を質問した。

の専門委員会で議論を進め、そこにシステムの構築だけに留まらず、人間力を創り上げていく。



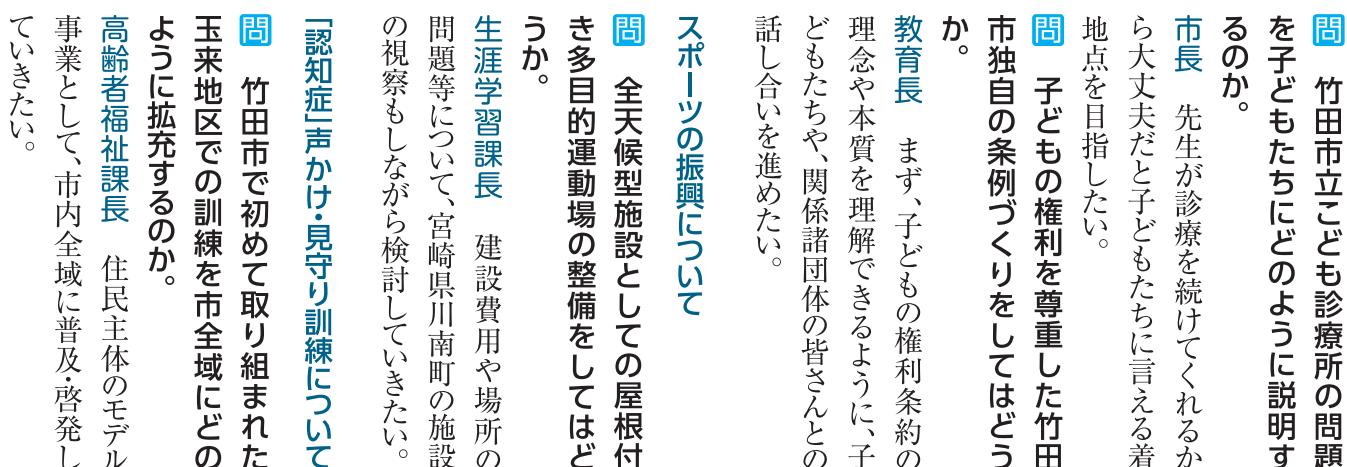
農林業政策について



中小企業の振興について

阿部 雅彦

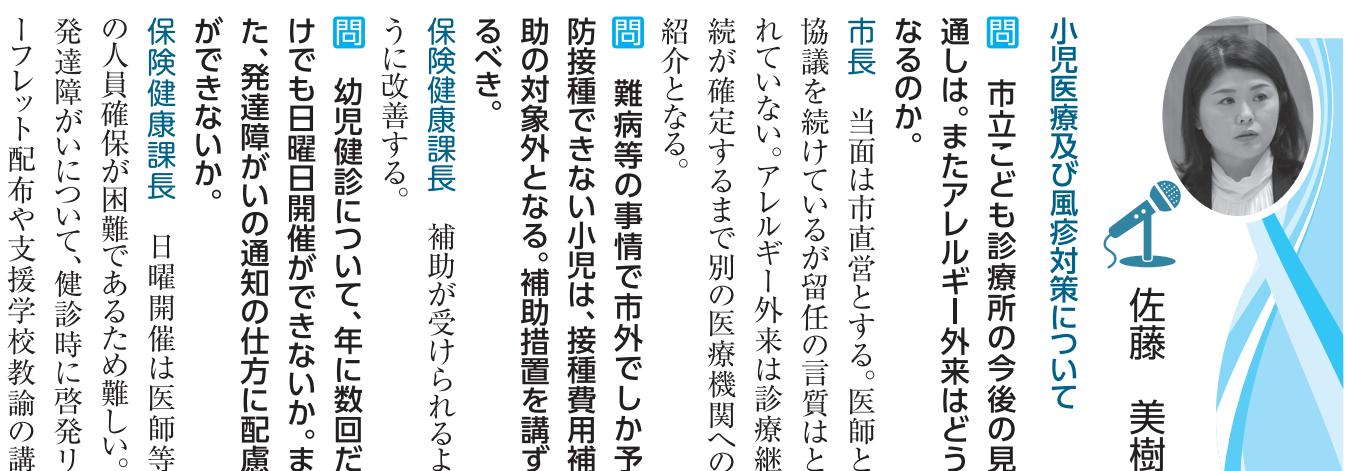
- 問 3月定例会に提案されている中小企業振興基本条例の主な役目は何か。
- 商工観光課長 中小企業の活力発揮や事業の継続的な経営ができるよう、市と関係諸団体が連携し、具体的な政策づくりのためのアクションプランの作成を目指していきたい。
- 問 来年2月に開催予定の「第3回全国あきんどサミット大分・竹田大会」への行政としての支援は。
- 副市長 市も実行委員会に参画しうける限りの支援をしていきたい。



小児医療及び風疹対策について

佐藤 美樹

- 問 子どもの権利を尊重した竹田市独自の条例づくりをしてはどうか。
- 教育長 まず、子どもの権利条約の理念や本質を理解できるように、子どもたちや、関係諸団体の皆さんとの話し合いを進めたい。
- 問 スポーツの振興について
- 生涯学習課長 全天候型施設としての屋根付き多目的運動場の整備をしてはどうか。
- 問 風疹ワクチン補助制度がある
- 竹田市立こども診療所の問題を子どもたちにどのように説明するのか。
- 市長 先生が診療を続けてくれるから大丈夫だと子どもたちに言える着地点を目指したい。



- 問 竹田市の児童虐待の現状とその対策は。
- 社会福祉課長 平成29年の4月からの1年間の対応件数は、257件である。市としては、子育て包括支援センター「スマイル」を中心とし、関係機関と連携した対応を進めている。
- 問 竹田市で初めて取り組まれた玉来地区での訓練を市全域にどのように拡充するのか。
- 高齢者福祉課長 住民主体のモデル事業として、市内全域に普及・啓発していく。
- 問 幼児健診について、年に数回だけでも日曜日開催ができないか。また、発達障がいの通知の仕方に配慮ができないか。
- 保険健康課長 日曜開催は医師等の人員確保が困難であるため難しい。発達障がいについて、健診時に啓発りーフレット配布や支援学校教諭の講演会を行なう等、理解を広めるよう努めている。支援体制の構築とともに当事者への配慮を徹底したい。
- 問 風疹ワクチン補助制度があるが、接種状況は。
- 保険健康課長 市の補助制度を利用してこれまで24人が接種している。県、国の成人接種推進にならい、予防の周知を図りたい。
- 問 自治会制度について
- 生涯学習課長 先進地事例を参考に公民館・分館を生涯学習機能に加え、地区ごとに活性化事業に取り組めるよう、教育委員会から市長部局に移管してはどうか。
- 問 自治会統合について、市の支援はあるか。
- 総務課長 地域の意思と自主性を尊重しながら統合再編を図っていく。自治会連合会は行政区再編計画を立て地域実態調査を行い、協議を続けている。市の支援として自治会統合助成金や集会所施設整備事業補助金など交付している。
- 問 自治会役員の担い手不足対策として、自治会各種団体の整理統合

や負担軽減が必要である。自治会役員の業務や組織編制に関して市の見解を問う。

総務課長 自治会の小規模化や高齢化に伴う自治会役員の新たな選出方法など、関連条例の規定や組織の見直しを含めて、今後も検討していきたい。



首藤健一郎

こども診療所について

問 現在、医師との状況は。

特命課長 「新たな診療所で4月以降診察を続ける」という言葉は頂けていない。

問 現医師が医療法人を取得できないと知りながら、「取得しないと大変なことになる」と発言しているが事実か。

副市長 そのような発言をした事はないはずだ。(病院)事務長はそうおっしゃったが記憶にない。

問 先日の対策委員会では認めているが、委員会で嘘の答弁をしたの

か。

副市長 昨年5月28日の記憶がない。

問 もう一度確認する。

副市長 改めて説明する。事務長を呼んで、叱咤激励をした。

問 前と違うような答弁をされて、私も不信感を持った。昨年7月、現医師に対して、「大久保病院が先生を雇つてあげてもいい」と言つてている。先生の方から話をして」と発言したのは事実か。

副市長 おおむねそう言った。現医師は追い詰められていたのだろうと思う。

問 結局、先生は話をしなかつた。どう分析しているか。

副市長 医師の思いを共有できていたのか、と悔やまれる。

クアハウスについて

問 レストラン棟と宿泊棟の工事進捗具合は。

直入支所地域振興課長 レストラン棟は、進捗率80・5%。完成は3月21日予定。宿泊棟は、進捗率60%。完成は3月30日予定。

問 1億円の補助金の会計報告は。

直入支所地域振興課長 2月末時点での工事関係等の契約額のうち約2億円をすでに支払っている。その支

払いに充当していると報告を受けている。

グランツたけたについて

問 これまでの取組と課題は。

文化政策課長 オープン以来の入館者数は、約4万8千人。それ以外でも市民ラウンジを中心に、親子連れや高校生等が広く利用している。トイレの案内表示や、入り口に案内看板の設置要望がある。

問 グランツ近くに玉来駅を移動してはいかがか。扇森稻荷神社やショッピングにも便利で、病院やホテルも近い。

企画情報課長 夢や希望を持つつつ、チャンスがあればチャレンジしたい。

問 竹田市政の羅針盤となる基本構想、基本計画が必要ではないか。

市長 最近は1年ごとに国の政策が変わる。5年、10年スパンでは対応できない。生き残れる自治体として、どう切り開いていくのかという視点での計画は必要だと思う。

問 竹田市の将来計画について

佐田 啓一

竹田市の農業振興策について

問 農業産出額が239億円に伸びた要因は何か。

農政課長 農業生産振興対策として、この10年間で各分野に20億円超の支援策を講じてきた成果の表れと分析している。

問 植草農家の減少を食い止め生

日本で唯一の市立こども診療所の設置、包括支援センター、7か所の暮らしおサポートセンター、各種子育て支援制度の充実、簡易水道の統合、スマートフォン団地や子育て定住住宅などの住宅建設、そのほか地域防災、都市再生整備、各種農業政策が推進できた。また、財政面においても合併特例債を有効に活用し、120億円規模の起債に対し、約7割が国から補てんを受ける効率的な整備を行うことができた。これらは本計画の成果であると評価している。

問 竹田市政の羅針盤となる基本

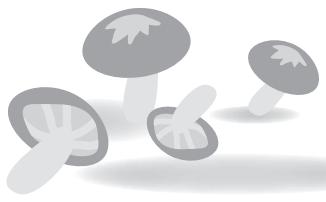
構想、基本計画が必要ではないか。

市長 最近は1年ごとに国の政策が

変わることもある。生き残れる自治体として、どう切り開いていくのかという視点での計画は必要だと思う。

産高を維持・向上させるため、1万駒以上1駒1円の助成など市独自の支援策の強化を。

農政課長 生産者数は、880人から900人の範囲で推移しているが、生産量が減少している。これは、生産者が高齢化したことと、原本木の伐採などの重労働が負担となっていることが原因と考える。竹田市は日本一の乾椎茸産地だが、豊後大野市が植菌量で竹田市を上回ったのではという情報があり危機感を持っている。対策としては、新規栽培者の掘り起こととして、31年度から2万駒以上1駒1円の助成をしたい。さらに、新規栽培者については、全駒1円を補助するなどの新たな支援策を検討したい。また、高齢者に限らず作業の負担軽減について、何らかの施策を講じていきたい。



者高齢化したことと、原本木の伐採などの重労働が負担となっていることが原因と考える。竹田市は日本一の乾椎茸産地だが、豊後大野市が植菌量で竹田市を上回ったのではという情報があり危機感を持っている。対策としては、新規栽培者の掘り起こととして、31年度から2万駒以上1駒1円の助成をしたい。さらに、新規栽培者については、全駒1円を補助するなどの新たな支援策を検討したい。また、高齢者に限らず作業の負担軽減について、何らかの施策を講じていきたい。

竹田市職員(管理職)の体制について

問 副市長の職務は。

副市長 市長を補佐し、市長の命を受けて政策、企画をつかさどり、職員の担当する事務を監督する。また公共施設等を発注する際、300万円以上3000万円未満は副市長が決裁する。

問 理事を新設する目的は。

総務課長 経験値の高い人材の多くの退職している。組織の統括、横断的な政策調整や事業連携、市長の特命事項を円滑に推し進めるため、市長部局に新設する。

問 副市長の兼任職はいくつあるのか。ある程度整理し管理職の育成に努めては。

副市長 組織の委員会や審査会の長を務めているのが30組織、また法人格のある外部団体の長や役員が9法人ある。いずれも市政と密接つながりを有し、代表者や構成員として関与していく必要がある。組織の成熟や

人材の育成・発掘、懸案事項の解決など、新しい体制に移行することも検討している。

問 人事異動において一定年齢以上は異動させないで、その課のプロを育てては。

市長 向こう7年で経験値の高い職員が93名退職することになる。組織体制のあり方や職員配置、人材育成の方を考える。施設の指定管理や民間委託など、民間活力の活用をはじめ、正規職員の採用のほか、様々な任用形態を研究しながら、必要なマンパワーを確保、育成し、行政機能と住民サービスの向上に努める。人事異動は適材適所の配置を念頭に、個人の能力の向上を図り、高い専門性を育成する。スペシャリストとジェネラリストという、能力開発にも長期的な視点を持ち、住民ニーズの多様化に対応できる専門職養成に取り組む。



竹田市立こども診療所について

問

こども診療所の医師と市との間の意思疎通の問題が新聞報道でも明らかになった。市長の責任でスピード感を持つた現医師との関係改善を願うが、どうか。

市長 誤解や説明不足があつたと思うので、責任をもつて問題解決にあたりたい。

問 この問題を根本的に解決するため、安定した診療所運営に邁進できる環境の整備を求めるが、どう考えるか。

市長 医療や教育などの専門家と協議し、安定した診療所運営になるよう努力する。

問 今後、市民が安心して利用できる市直営の運営を求めるが、市長はどう考えるか。

市長 当面、4月以降は市直営で運営したいが、指定管理の案も考えている。



日本共産党

竹田市立こども診療所について

問

こども診療所の医師と市との間の意思疎通の問題が新聞報道でも明らかになった。市長の責任でスピード感を持つた現医師との関係改善を願うが、どうか。

市長 誤解や説明不足があつたと思うので、責任をもつて問題解決にあたりたい。

問 この問題を根本的に解決するため、安定した診療所運営に邁進できる環境の整備を求めるが、どう考えるか。

市長 医療や教育などの専門家と協議し、安定した診療所運営になるよう努力する。

問 今後、市民が安心して利用できる市直営の運営を求めるが、市長はどう考えるか。

市長 当面、4月以降は市直営で運営したいが、指定管理の案も考えている。

昨年12月に発効したTPP11が竹田市農業に与える影響について

現在の竹田市の全農業産出額と、主な農産物の産出額を問う。

農政課長 竹田市の28年度の農業産出額の総額は239億円であり、野菜が95億円、花きが14億4千万円で、いずれも県下でトップ。肉用牛が約34億円。養豚も約37億円。また養鶏が約26億円。この三者は、いずれも大分県一である。

問 TPP11の発効により、予想される竹田市の農業産出額の減少額を問う。

農政課長 牛肉1億3千万円、豚肉2億9千万円の減少と推計している。

問 発効に備えての対応策を問う。

農政課長 畜産クラスター事業による機械や家畜導入の支援などに取り組む。

問 近年、地震が頻発している。震度6強に耐え得る竹田市の水道管耐震化率を問う。

上下水道課長 水道管耐震化率は約40%。

問 市の水道管耐震化促進の状況を問う。

上下水道課長 促進基本化計画で

進めているが、当面市道の道路改修に伴って進めている。

社会福祉課長 3歳になった次の4月から月額3万7千円を上限に助成される。

幼児教育・保育無償化、子育て施策について



問 今年の10月から制度が始まるが、その概要はどのようなものか。

社会福祉課長 3歳から5歳までのすべての子どもたちの幼稚園保育所

認定こども園等の費用を無償化する

とともに、低所得世帯にも配慮し、0歳から2歳までの住民税非課税世帯の子どもを対象に、保育所等の費用を無償化する。

問 竹田市の場合、幼稚園の無償化はどうなるか。

社会福祉課長 幼稚園は、3歳になつた日から無償化の対象になる。

問 保育所の場合はどうなるか。

社会福祉課長 保育所、認定こども園の場合は3歳の誕生日になった次の4月から無償になる。

問 竹田市では2か所ある認可外

保育施設等はどうなるか。

社会福祉課長 3歳になった次の4月から月額3万7千円を上限に助成される。

問 0歳から2歳児の保育所等の費用が無償になる住民税非課税世帯の収入はいくら程度なのか。

社会福祉課長 大方の目安は260万円から270万円位までになる。

無償化されるタイミングが幼稚園と保育所、認定こども園では違つてくる。10月の制度開始時に、竹田市では混亂がないよう十分にお知らせ願いたい。

学校統廃合のアンケート結果について



問 こども診療所医師に対する副市長のパワーハラスメントについて

問 こども診療所の指定管理に関する協議が昨年11月5日に行われた。

医師の言によれば、当時の副市長の言動は次のとおりである。「これまで先生のことを第一に考えてやってきた。どうしたら手を挙げてくれる。ふざけるな(机をバーンと叩いて、茶碗が飛んで)今更やらないなんかないからなふくもりたまで何度も

行っておきながら、4年も5年も話してきたことだろ。法人を立ち上げてやれ、誰でもできるようにしてやつてるんだ」とのことは事実か。

問 0歳から6歳の子を持つ全ての保護者にアンケートを実施してはどうか。

教育総務課長 3つの小学校、1つの中学校で「統合が望ましい」という意見が50%を超えた。

問 特定地域の未就学児の保護者には実施を検討したい。

教育長 特定地域の未就学児の保護者が子の中学校卒業が近い保護者とこれから小学校に入学する保護者

者では学校統廃合に対する意識が違うと思われるので、アンケート結果が違つてくると推測される。ぜひ、すべての保護者に実施してほしい。

* 「ふくもりた」：地域に根差した小児医療に取り組む岩手県一戸町にある「ふくもりたこどもクリニック」を指す。

副市長 当日、何があつたのかは2人のことなので説明は控える。パワーハラスメント防止要綱によつて認定があつたかどうかは、竹田市職員パワーハラスメント防止要綱によつて認定される。

問

職場のパワーハラスメントの定義を「同じ職場で働く者に對して、職務上の地位や人間関係などの優位性を背景に、業務の適正な範囲を超えて、精神的・身体的苦痛を与える又は職場環境を悪化させる行為」と厚労省が定めている。副市長の言動に対する医師の怒りを收めないと、竹田市の小児医療の継続は難しい。再度問うが、このよだな言動はあつたのか。

副市長 過去に、これほど人を傷つけるよだな言葉を使つたことはなかつた気がする。このことは、医師ご本人に心配をかけた。大変厳しい思いをされた、孤独であつたということは、お詫びしなければならぬと思つてゐる。

この言動に対して、だれか責任を取らなければ、小児医療の継続が難しいのではないか。

市長 小児医療の重要性、継続される思いは強いものを持つてゐる。これをクリアしたいという思いが募つた言葉なり行動であつた。誤解を招

いたり、プレッシャーをかけることになつたとすれば、私の立場からお詫びを申し上げたいと思う。

そのほか、再生可能エネルギー発電について質問をした。

問 4月10日について

電について質問をした。



渡辺 克己

「ども診療所の指定管理者公募に関する件について」

指定管理者公募にかかる執行部

の言動が現医師(高野医師)に対し不自信感を抱かせたとして新診療所が4月以降開業できない状況にある。公募開始前の30年1月31日から公募最終日の11月20日までの執行部の行動について聞く。公募に関する大久保病院(以下「病院」とする)への対応について聞く。

問 1月31日について

副市長 病院の理事長、事務長と市長が面談した。

副市長 市長室にて、病院の理事長、

事務長と市長が面談。理事長、事務長より、地域における小児医療の継続について検討したいので、高野医師との面談や、決算書、患者数等の資料提供を依頼された。(後日資料を提供)

問 5月2日について

副市長 病院へ行き事務長と面談。

事務長から高野先生との面談を要望された。

問 5月9日について

副市長 副市長室にて、高野医師と面談。指定管理とし7月末公募予定であるので、医療法人格を取得し参加を予定していると伝えた。

※指定管理は個人ではできないため、医療法人格を取ることが必要となる。高野医師は開業医ではないから医療法人になれない。

副市長 病院の事務長来庁。高野医師はどうなつたのか、募集要項は出来たのかとの問合せがあつた。その時点では、公募要項の準備ができていないと伝えた。

問 7月13日について

副市長 高野医師へ、医療法人格が取れないから、「病院が高野医師を雇用する」と提案していると話した。

問 6月20日について

副市長 病院の理事長、事務長と市長が面談。高野医師が、病院に來てくれるのか、本人の意向確認を依頼された。

お問合せ 竹田市議会事務局 ▶▶ ☎ 0974-63-4813

議会を傍聴に いらっしゃいませんか

所定の受付簿に住所・氏名等を記入するだけで、本会議や各委員会を傍聴することができます。

どうぞ、お気軽においでください。

また、ケーブルテレビでも定期会初日の提案理由の説明と、一般質問及び代表質問の中継を行っています。

傍聴席には限りがあるため、希望が多い場合にはご希望に沿えないこともあります。



第1回定例会 予算特別委員会

平成31年度 一般会計

197 億 6,720 万 円



平成31年第1回定例会・予算特別委員会が3月14日・26日の両日開催され、付託された一般会計予算を慎重審査した結果、賛成多数で可決されました。

【主な新規事業、重点事業】 ※印は新規事業です

◆総務・企画

地域おこし協力隊推進事業	1億7,487万円
まちづくり支援事業	1億8,019万円
(ふるさと納税に関する内容充実やまちづくりに取組む市民を支援)	
「天空の展望公園」整備事業	2億1,176万円
定住促進住宅取得補助金 ※	1,500万円
(45歳未満の方が市内で住宅を取得した場合に助成)	

◆福祉・健康・医療

放課後児童クラブ建設事業	7,862万円
認定こども園整備事業	2億5,000万円
健康増進施設関係事業 ※	719万円

◆農林業

活力あふれる園芸産地整備事業 (ハウスや機械の導入等に係る助成)	1億2,382万円
担い手対策費 (経営の不安定な就農初期段階の親元就農者に対する助成)	3,233万円
有害鳥獣被害防止対策事業 (いのしし、シカなどの野生鳥獣による農林業被害防止のための支援)	5,953万円
特用林産物生産振興事業	4,038万円

◆畜産業

肉用牛大規模経営体育成事業	2,526万円
---------------	---------

◆農地整備

県営土地改良事業負担金 (農業施設の近代化や農地の集約化)	3億8,796万円
多面的機能支払交付金事業 (農業・農村の地域活動や営農の継続等に対する支援)	2億7,940万円
中山間地域等直接支払交付金事業 (農業生産条件の不利を補正するため、生産活動を維持する活動を支援)	5億1,996万円

◆商工・観光

街なか交流施設整備事業	2億4,345万円
-------------	-----------

◆土木・建築

社会資本整備総合交付金事業 (道路改良・維持、街なみ環境整備事業)	4億7,484万円
玉来ダム建設事業推進費	5,662万円

◆消防

消防施設整備事業 (救急自動車及び消防団車輌の更新、消防団詰所整備、防火水槽の新設)	1億839万円
---	---------

◆教育

歴史文化交流センター（仮称）建設事業	9億587万円
岡本分館建設事業	6,904万円
小中学校施設整備事業 (市内小中学校空調設置)	5億1,273万円
史跡岡城跡保存活用計画策定事業 (繰越予算含む)	560万円

平成31年

第1回定例会

平成31年3月1日～26日

議案等の議決結果

予算特別委員会
議
決
結
果

条 例 案		
議案番号	件 名	結果
議案 第25号	竹田市いじめ問題再調査委員会条例の制定について	可 決
議案 第26号	竹田市行政組織条例の一部改正について	可 決
議案 第27号	竹田市職員の給与に関する条例の一部改正について	可 決
議案 第28号	竹田市暴力団排除条例の一部改正について	可 決
議案 第29号	竹田市基金条例の一部改正について	可 決
議案 第30号	竹田市消防団員の設置等に関する条例の一部改正について	可 決
議案 第31号	竹田市消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部改正について	可 決
議案 第32号	竹田市奨学金交付条例の一部改正について	可 決
議案 第33号	竹田市中小企業振興基本条例の制定について	可 決
議案 第34号	竹田市営駐車場条例の一部改正について	可 決
議案 第35号	竹田市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正について	可 決
議案 第36号	竹田市葬斎場条例の一部改正について	可 決
議案 第37号	竹田市国民健康保険条例の一部改正について	可 決
議案 第38号	竹田市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正について	可 決
議案 第39号	竹田市重度心身障害者医療費の支給に関する条例の一部改正について	可 決
議案 第40号	竹田市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営の基準を定める条例の一部改正について	可 決

議案第41号	竹田市特別職の職員で非常勤の者の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について	可 決
議案第42号	竹田市B&G直入海洋センター条例の一部改正について	可 決
議案第43号	竹田市文化財保護調査委員会条例の一部改正について	可 決
議案第54号	竹田市長及び副市長の給与に関する条例及び竹田市教育委員会教育長の給与及び旅費に関する条例の一部改正について	可 決
議案第55号	竹田市職員の給与に関する条例の一部改正について	可 決
議案第56号	竹田市職員の給与の特例に関する条例の一部改正について	可 決
議案第57号	竹田市立こども診療所設置条例の一部改正について	可 決
議会議案第1号	竹田市再生可能エネルギー発電の発電事業終了に伴う発電施設撤去に関する条例の制定について	可 決
議会議案第2号	竹田市議会委員会条例の一部改正について	可 決

予 算 案

議案番号	件 名	結果
議案第 6号	平成30年度竹田市一般会計補正予算(第9号)について	可 決
議案第 7号	平成30年度竹田市国民健康保険特別会計補正予算(第4号)について	可 決
議案第 8号	平成30年度竹田市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)について	可 決
議案第 9号	平成30年度竹田市介護保険特別会計補正予算(第4号)について	可 決
議案第10号	平成30年度竹田市簡易水道事業特別会計補正予算(第4号)について	可 決
議案第11号	平成30年度竹田市農業集落排水事業特別会計補正予算(第3号)について	可 決
議案第12号	平成30年度竹田市浄化槽整備推進事業特別会計補正予算(第3号)について	可 決
議案第13号	平成30年度竹田市国民宿舎久住高原荘事業特別会計補正予算(第1号)について	可 決
議案第14号	平成31年度竹田市一般会計予算について	可 決
議案第15号	平成31年度竹田市立こども診療所特別会計予算について	可 決
議案第16号	平成31年度竹田市長湯温泉療養文化館特別会計予算について	可 決
議案第17号	平成31年度竹田市国民健康保険特別会計予算について	可 決
議案第18号	平成31年度竹田市後期高齢者医療特別会計予算について	可 決
議案第19号	平成31年度竹田市介護保険特別会計予算について	可 決
議案第20号	平成31年度竹田市簡易水道事業特別会計予算について	可 決
議案第21号	平成31年度竹田市農業集落排水事業特別会計予算について	可 決
議案第22号	平成31年度竹田市浄化槽整備推進事業特別会計予算について	可 決
議案第23号	平成31年度竹田市国民宿舎久住高原荘事業特別会計予算について	可 決
議案第24号	平成31年度竹田市水道事業会計予算について	可 決

一 般 案

議案番号	件 名	結果
議案第44号	財産の貸付けについて	可 決
議案第45号	財産の貸付けについて	可 決
議案第46号	財産の貸付けについて	可 決
議案第47号	財産の貸付けについて	可 決
議案第48号	財産の無償譲渡について	可 決
議案第49号	竹田市荻堆肥センターの指定管理者の指定について	可 決
議案第50号	竹田市祖母山麓交流拠点施設の指定管理者の指定について	可 決
議案第51号	竹田市立久住保育所の指定管理者の指定について	可 決
議案第52号	竹田市祖母山麓体験交流施設「あ祖母学舎」の指定管理者の指定について	可 決
議案第53号	竹田市営土地改良事業の施行について	可 決
議案第58号	工事請負契約の締結について	可 決

そ の 他 案

議案番号	件 名	結果
諮問第 1号	人権擁護委員候補者の推薦について	原案の者適任

決 議 案

議案番号	件 名	結果
決議案第1号	首藤勝次市長に対する問責決議	可 決

■賛否一覧表

※賛成・反対の双方があった場合のみ表示しています。

決議案第1号「首藤勝次市長に対する問責決議案」を可決

議員名(議席番号順)														審議結果	
議案番号・件名															
議案第14号	平成31年度竹田市一般会計予算について	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
議案第26号	竹田市行政組織条例の一部改正について	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
議会議案第1号	竹田市再生可能エネルギー発電の発電事業終了に伴う発電施設撤去に関する条例の制定について	○	●	○	●	○	○	○	○	●	●	●	●	可決	
決議案第1号	首藤勝次市長に対する問責決議案	○	●	○	●	○	○	○	○	●	○	●	●	可決	

※議長は表決に参加しないため、表決結果は空欄

表の見方…○：賛成 ●：反対



編集委員長 山村 英治

難しい問題があると弁護士にたずねる。市の説明に「このことについては、顧問弁護士に確認済み」と念押しが入る。ほんとうにそういうのか、若い弁護士が一度ほど資料に目を通すと、問い合わせに対して、立て板に水、思わず膝を叩く答えが返ってくる。じつと、目を覗きこんでみる。優しい穏やかな目だ。いろいろな解釈はある。市政が動く。議会がチエックする。決まりごとの運用の先に、最大数の市民の歓声が響き渡つてほしいと思う。

あじがき

難しい問題があると弁護士にたずねる。市の説明に「このことについては、顧問弁護士に確認済み」と念押しが入る。ほんとうにそういうのか、若い弁護士が一度ほど資料に目を通すと、問い合わせに対して、立て板に水、思わず膝を叩く答えが返ってくる。じつと、目を覗きこんでみる。優しい穏やかな目だ。いろいろな解釈はある。市政が動く。議会がチエックする。決まりごとの運用の先に、最大数の市民の歓声が響き渡つてほしいと思う。